

宇部市民オーケストラ

第14回 気軽にアンサンブル

♪ 日時：2015年7月12日（日）午後2時開演

♪ 場所：ヒストリア宇部 1階イベントホール

♪ 主催ならびに演奏：宇部市民オーケストラ

♪ 後援：宇部市民オーケストラ後援会



本格的な夏の訪れも近い今日この頃ですが、本日は宇部市民オーケストラの「気軽にアンサンブル」にご来場いただきありがとうございます。この「気軽にアンサンブル」は2002年の開始以来、毎年この時期の宇部オケの恒例行事となって今回で14回目を迎えました。日曜日の午後のひととき、いろいろな編成の室内楽の響きをお楽しみいただければと思います。

なお、9月6日の宇部市民オーケストラの演奏会「クラシックの午後：気軽にオーケストラ」は、ラベル、ビゼー、フランクといったフランスの作曲家を特集したプログラムです。こちらも併せてご来場いただきますようご案内申し上げます。

プログラム



1. 弦楽5重奏：シューベルト 弦楽5重奏曲 ハ長調 より 第3楽章 昔話メドレー （編曲：滝澤俊輔）

Vn：安永 恵、清水 治子、Va：濱野 妙子、Vc：栗林 宏明、藤野 緑

2. 管楽8重奏：モーツァルト セレナーデ第12番ハ短調 より 第1、2、4楽章

Ob：宗國 敦子、中村 香織、Cl：向山 尚志、伊藤 しおり、Fg：伊藤 浩太、森 阿紀子
Hr：福田 誠、徳永 輝



◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇

3. フルートと弦楽四重奏

・「花燃ゆ メインテーマ」（作曲：川井憲次、編曲：菅野浩司）、・モーツァルト 歌劇「魔笛」より「夜の女王のアリア」、・グルック「精霊の踊り」

F1：村田 恭子、Vn：安永 恵、清水 治子、Va：濱野 妙子、Vc：栗林 宏明

4. オーボエアンサンブル

・ピタゴラススイッチのテーマ（栗コーダーカルテット 栗原正己）、・ゴッドファーザー 愛のテーマ（ニーノ・ロータ）、・ブランデンブルグ協奏曲より（バッハ）

Ob：青木 浩明、中村 香織、宗國 敦子

5. モーツァルト：ディベルティメント第17番 より 第1、3楽章

指揮：栗林 宏明、Vn1：安永 恵、松井 颯子、村上 正俊、濱野 妙子、Vn2：清水 治子、辻 弓弦、長岡 祥、柳井 祥子、Va：吉本 宗明、上野 明弘、長谷部 素子、浅海 菜月、押部 奈美子、Vc：藤野 緑、黒川 明徳、佐伯 真理子、山本 佐織、Hr：福田 誠、徳永 輝、

♪♪♪ 曲 目 紹 介 ♪♪♪

○シューベルト 弦楽5重奏曲 ハ長調 より 第3楽章

シューベルト死の2か月前に完成した作品。この曲は楽器編成に特徴があり、ヴァイオリン2、ヴィオラ1、チェロ2という楽器編成となって低音が増強されどっしりとした響きをつくり出しています。4楽章で構成されますが、各楽章は規模が大きく、全曲を通して演奏するのにほぼ1時間を要します。今回は、冒頭から活気がみなぎり、各パートが躍動する第3楽章スケルツォをお聞きください。

○昔話メドレー

小さい子供さん向けの曲を探していて見つけた曲。ですが、今の園児さん達は日本の昔話や、歌をあまり知りません。「うさぎとかめ」「金太郎」「浦島太郎」「一寸法師」「桃太郎」に「あわて床屋」大人が聴いて面白い構成、楽しい編曲になっています。

○モーツァルト セレナーデ第12番ハ短調 k.388 より 第1、2、4楽章

モーツァルトの作品で「セレナーデ」と名のつくものは13曲ありますが、そのうち管楽合奏で3曲が作られています。そして13曲のうち、短調で書かれている唯一の作品がこの第12番ハ短調で、冒頭の暗く重々しい響きは一般的なセレナーデのイメージとはかなり異なる印象です。モーツァルトは後にこの曲を弦楽5重奏にも編曲しています。

○「花燃ゆ メインテーマ」：大河ドラマ「花燃ゆ」オープニングで、男性コーラスが鋭く重厚なオーケストラをバックに朗々と歌い上げる部分の歌詞は、吉田松陰がその死の直前に書き残した次のような和歌が元になっているそうです。「愚かなる吾れをも友とめづ人はわがとも友(ども)とめでよ人々」(愚かな私を友として大事に思ってくれる人がいるとしたら、私の友についても、私と同様に大事に思っ欲しい)

○モーツァルト 歌劇「魔笛」より「夜の女王のアリア」：モーツァルトの歌劇『魔笛』の第2幕 夜の女王(ソプラノ)が娘のパミーナに宿敵ザラストロを殺すように迫る場面で歌われるのが夜の女王のアリア、「復しゅうの心は地獄のように胸に燃え」です。復しゅうに燃えるあまり、人間を超えた怪物となってしまった夜の女王。通常、ソプラノの音域とされている高さよりも、さらに高い音域でめまぐるしく音が動く超絶技巧を使って、モーツァルトはその激しい怒りを表現したのです。

○グルック「精霊の踊り」：「精霊の踊り」は歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」の中の第2幕第2場で演奏される間奏曲で、フルートの甘く美しい調べが印象的です。主人公のオルフェオが妻エウリディーチェを取り戻すため黄泉の国に着いた時、目に飛び込んできた美しい風景と、そこでエウリディーチェが精霊と共に戯れ踊る様子を表していると言われています。

○ピタゴラスイッチのテーマ(栗コーダーカルテット 栗原正己)：NHKの教育番組『ピタゴラスイッチ』のテーマ曲です。リコーダーの柔らかい音と脱力感がこちよいかわいらしい曲です。

○ゴッドファーザー 愛のテーマ(ニーノ・ロータ)：映画『ゴッドファーザー』は、マフィアの世界を克明に描きベストセラーとなったマリオ・プーゾの同名小説を映画監督フランシス・コッポラが映画化し、1972年にアメリカで公開されました。この美しく物哀しい『愛のテーマ』は今なお愛される名曲です。

○ブランデンブルク協奏曲より(バッハ)：『ブランデンブルク協奏曲』は6曲からなる合奏協奏曲集です。1721年にブランデンブルク=シュヴェート辺境伯、クリスティアン・ルードヴィヒに献呈されたためこの名があります。どの曲もととも美しく魅力にあふれています。

○モーツァルト：ディベルティメント第17番 k.334 より 第1、3楽章

ザルツブルクの名門貴族であるローベニヒ家の家庭的な祝事のために作曲された曲。全体が明るく美しい旋律に富み、極めて流麗かつ優雅でパリ風の華やかさも、上品な娯楽音楽として最もふさわしい音楽と言えます。第一ヴァイオリンに協奏曲のような役割が与えられていますが、他の弦楽器にも緻密な表現が要求されていて、室内楽と協奏曲の要素は見事に融合しています。